

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年6月17日(2010.6.17)

【公開番号】特開2008-255038(P2008-255038A)

【公開日】平成20年10月23日(2008.10.23)

【年通号数】公開・登録公報2008-042

【出願番号】特願2007-97476(P2007-97476)

【国際特許分類】

A 6 1 K 9/70 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 9/70 4 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月23日(2010.4.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリエステル系フィルムからなる支持体と薬物を含有する粘着剤層とを有する皮膚貼付薬シートであって、

前記支持体の厚さは、 $6 \sim 20 \mu\text{m}$ であり、

前記粘着剤層の厚さは、 $10 \sim 80 \mu\text{m}$ であり、

前記支持体は、外側表面上に印刷層を有し、

前記印刷層を有する支持体の外側表面の表面粗さ R_z (JIS B 0601 準拠) は、 $2 \sim 5 \mu\text{m}$ である

ことを特徴とする皮膚貼付薬シート。

【請求項 2】

ポリエステル系フィルムは、ポリエチレンテレフタレートである請求項 1 記載の皮膚貼付薬シート。

【請求項 3】

前記支持体の内側表面は、プライマー加工を施したものである請求項 1 又は 2 記載の皮膚貼付薬シート。

【請求項 4】

前記印刷層は、酸化チタン、酸化亜鉛、酸化鉄、タルク、カオリン、アルミナ及び炭酸カルシウムからなる群より選択される少なくとも 1 種の無機系添加剤を含むインキを用いて形成される請求項 1、2 又は 3 記載の皮膚貼付薬シート。

【請求項 5】

粘着剤層は、アクリル系粘着剤又はゴム系粘着剤を含有するものである請求項 1、2、3 又は 4 記載の皮膚貼付薬シート。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、ポリエステル系フィルムからなる支持体と薬物を含有する粘着剤層とを有する

皮膚貼付薬シートであって、上記支持体の厚さは、 $6 \sim 20 \mu\text{m}$ であり、上記粘着剤層の厚さは、 $10 \sim 80 \mu\text{m}$ であり、上記支持体は、外側表面上に印刷層を有し、上記印刷層を有する支持体の外側表面の表面粗さ R_z （JIS B0601準拠）は、 $2 \sim 5 \mu\text{m}$ であることを特徴とする皮膚貼付薬シートである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記ポリエステル系フィルムは、ポリエチレンテレフタレートであることが好ましい。

上記支持体の内側表面は、プライマー加工を施したものであることが好ましい。

上記印刷層は、酸化チタン、酸化亜鉛、酸化鉄、タルク、カオリン、アルミナ及び炭酸カルシウムからなる群より選択される少なくとも1種の無機系添加剤を含むインキを用いて形成されることが好ましい。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0054

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0054】

実施例1～3、参考例1、2及び比較例1～6

（支持体の作製）

必要に応じて、市販のフィルムの内側表面（粘着剤層が形成される面）にコロナ処理又はプライマー処理が施され、また、フィルムの外側表面に（粘着剤層が形成されない面）に印刷が施されることにより、支持体を作製した。使用したフィルム種類、その厚さ（ μm ）、フィルムの外側・内側表面の処理（コロナ処理、プライマー処理、印刷）、フィルムの外側表面の表面粗さ R_z （ μm ）は、表1、2に示した通りである。印刷は、表1、2に示した成分を含有するアクリル系インキを使用して行った。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0062

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0062】

【表 1】

	参考例1	実施例1	実施例2	参考例2	実施例3
フィルム種類	ポリエチレン テフタレート	ポリエチレン テフタレート	ポリエチレン テフタレート	ポリエチレン テフタレート	ポリエチレン テフタレート
フィルム厚み(μm)	6	12	20	6	20
フィルム外側表面処理	未処理	印刷(酸化チタン)	印刷(酸化亜鉛、酸化鉄、タルク、カオリン、アルミナ及び炭酸カルシウム)	未処理	印刷(酸化亜鉛、酸化鉄、タルク、カオリン、アルミナ及び炭酸カルシウム)
フィルム外側表面の表面粗さ(μm)	0.01	2	5	0.01	5
フィルム内側表面処理	コロナ処理	ポリエステル系 プライマー	ポリウレタン系 プライマー	コロナ処理	アクリル系 プライマー
粘着剤種類	アクリル系	アクリル系	SIS系	アクリル系	SIS系
粘着剤層厚み(μm)	20	10	80	30	50
総厚み(μm)	26	32	100	36	70
ガラス板への粘着力(N/25mm) JISZ0237	8.5	4.0	19.9	9.5	17.3
外観変化(透過・ブリード)	○	○	○	○	○
剥がれにくさ	○	○	○	○	○
風合い	○	○	○	○	○
ハンドリング性	○	○	○	○	○